

## 【吉田進：ロシア関連ニュース】

### バム鉄道とシベリア鉄道の拡張

#### ー 大統領がインフラ整備基幹プランに組み込み指示 ー

プーチン大統領は、バイカル・アムール鉄道（バム鉄道）とシベリア鉄道の拡張関連事業を、基幹インフラ近代化・拡張総合プランに組み入れるよう指示した。本件は、7月18日に開かれた閣僚との会合の結果にそった命令リストに記されている。

この文書は大統領府公式サイトで公表されている。

5月大統領令によると、バム鉄道とシベリア鉄道の輸送力を2024年までに1.5倍の1億8000万トンに拡大することになっている。

基幹プランには、5月大統領令に記されているインフラ整備措置が盛り込まれる。

交通・運輸分野のこの種のプロジェクトは全10件。「モスクワを経由しない地域間航空運送を全体の50%に拡大」、「北極海航路の強化」（2024年までに貨物量を8000万トンに拡大）、「海港の作業力の強化」、「欧州－中国西部間道路」、「アゾフ・黒海海域の港湾への鉄道」。計画にはさらに、ウラジオストクからロシア連邦西部国境までのコンテナ輸送日数を7日に短縮することや、モスクワ交通結節点の整備、モスクワ－カザン間高速鉄道第1期工事（モスクワからウラジミルまで）、コンテナ中継を4倍に拡大、内陸水路の整備も含まれている。

東部管区鉄道整備プロジェクトは、ロシア極東の港湾及び国境回廊方面のバム鉄道とシベリア鉄道の輸送力を2020年に1億2490万トン（2012年比で6680万トン増）に拡大することを見込んでいる。プロジェクトの技術価格監査の結果、総事業費は5541億ルーブルとなり、このうちロシア鉄道の負担は3022億ルーブル、連邦1042億ルーブル、国民福祉基金1477億ルーブルとなっている。

いわゆるBAM-2、つまりさらなる鉄道網拡張段階に2020年までに移行すれば、2024～2025年にこの方面の貨物量は2012年比で約1億1400万トンの増加につながる、とロシア鉄道のワジム・ミハイロフ第一副社長は語った。ミハイロフ第一副社長によれば、特に、バム鉄道の東部区間（コムソモリスク・ナ・アムールからワニノ港方面）の電化に本格的な経済効果が期待される。

（タス通信8月13日）